

令和4年8月2日

独立行政法人 家畜改良センター

搾乳ロボットに適した乳房の形状の改良効果が期待される 「乳房の傾斜」の評価値の公表を開始しました

日頃から、乳用牛の遺伝的能力評価業務に対するご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

この度、令和4年7月22日に開催された乳用牛改良推進会議(事務局：乳用牛改良推進協議会(構成員：(一社)日本ホルスタイン登録協会、(一社)ジェネティクス北海道、(株)十勝家畜人工授精所、(一社)家畜改良事業団、(独)家畜改良センター))において、本年8月の乳用牛(ホルスタイン種)の遺伝的能力評価の公表から「乳房の傾斜」の評価値を公表することが決定されました。

「乳房の傾斜」は、乳房の極端な傾斜を防ぐ効果が期待されます。

つきましては、酪農業界内における周知を図りたく、別添資料(「乳用牛の2022-8月評価から「乳房の傾斜」の評価値の公表開始」)に解説をとりまとめましたので、貴社の発行される誌上にて、お取扱いいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

【 お問い合わせ 】

～ 日本の畜産 改良と技術で育てます ～

独立行政法人 家畜改良センター

〒961-8511

福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原 1

TEL : 0248-25-4904

FAX : 0248-25-3982

URL : <http://www.nlbc.go.jp/>

MAIL : gepub@nlbc.go.jp

(※を@に変えて送信してください。)

担当：改良部情報分析課 佐分、井上

乳用牛の2022-8月評価から「乳房の傾斜」の評価値の公表開始

乳房の傾斜(体型の線形審査項目)の公表の開始

近年、搾乳ロボットの普及により、搾乳ロボットに適した乳房の形状への改良が求められてきています。搾乳ロボットの不適合になる基準の一つとして、乳房の底面の傾斜があり、極端な傾斜がある場合は好ましくありません(図1参照)。そこで、体型審査の際に評価される乳器に関する主要な線形形質のうち「乳房の傾斜」の遺伝的能力評価を2022-8月評価から開始します。

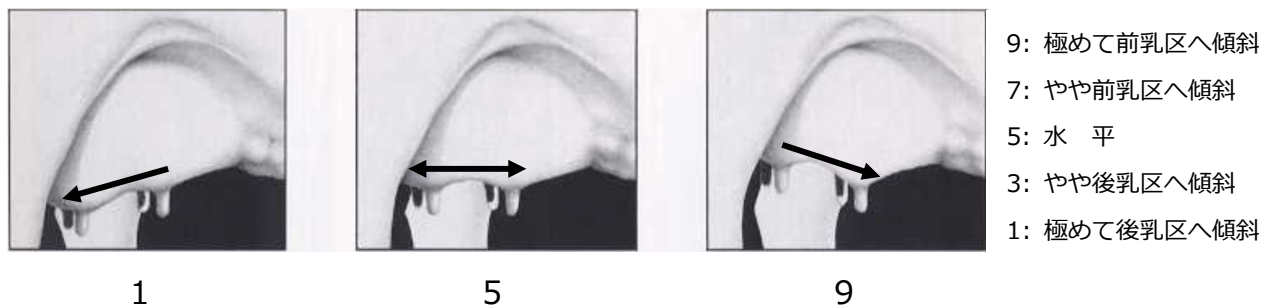


図1. 乳房の傾斜の体型審査基準

表型データの概要は、「乳房の傾斜(体型の線形の審査項目)の現状(<http://www.nlbc.go.jp/kachikukairyo/iden/nyuyogyu/newinfo/uti.pdf>)」をご参照ください。また、「乳房の傾斜」は、中程度(線形スコア5)が好ましい形質であり、「乳用種雄牛評価成績:通称(赤本)」の横向き棒グラフには、線形スコア5に相当する標準化育種価(SBV)の位置を星印で示しています。SBVは2015年(ベース年)生まれの雌牛の平均値を0として、標準偏差単位で表したもので、標準偏差単位で表すことで異なる尺度の形質を同じ尺度で表すことができます。横向き棒グラフでは、ベース年生まれの雌牛の平均値から当該牛がどの程度離れているかを視覚的に判断できるように工夫されています。「乳房の傾斜」では、SBVが小さくなる(グラフでは左側)ほど「後傾斜」、大きくなる(グラフでは右側)ほど「前傾斜」という表現になります。星印の位置が真ん中(SBVが0)とならないのは、ベース年生まれの雌牛の平均値が必ずしも線形スコア5とはならないからです。従って星印の位置に相当するSBV(-0.8)に近い種雄牛を選択することで、乳房の極端な傾斜を防ぐことが期待できます。